



# 竹村石材新聞



新年明けましておめでとうございます。令和七年(2025年)は「乙巳(きのと・み)」の年です。乙(きのと)は十干の2番目にあたり、草木に象徴されるように、柔軟でしなやかに伸びていくことや、困難があっても紆余曲折を経て進んでいく意味があります。また巳(み・へび)は神様の使いとして大切にされてきた重神物で、脱皮を繰り返すことから再生や変化を表しています。これらの意味を組み合わせた乙巳(きのと・み)の年は、再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく年になりそうです。能登の地震から丸一年が経過しましたが、まだまだ復興への課題は山積みで、弊社の震災後の対応も続いております。乙巳(きのと・み)のキーワードのひとつ「再生」の願いを被災地に重ねつつ、私自身も日々のことに柔軟に対応していきたいと思っております。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

竹村石材新聞の過去記事はこちらでご覧になれます⇒  
石材新聞配信希望の方は、下記アドレス脇田宛に件名をご記入のうえ、送信ください。 takemura@jeans.ocn.ne.jp

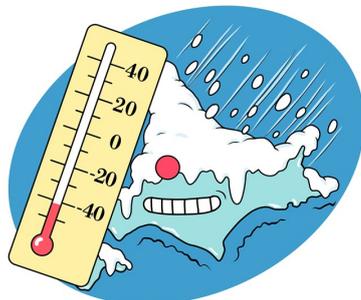


## 知っていますか? 1月の記念日

### ●1月25日は「日本最低気温の日」です

北海道上川地方旭川市で、1902年(明治35年)のこの日に日本の気象観測史上、最低気温、マイナス41.0度を記録しました。ちなみに日本の過去の最高気温は、2018年7月23日に埼玉県熊谷市で観測された41.1℃!

2020年8月17日の静岡県浜松市の気温と同じで、2025年現在どちらも「日本最高気温の日」になっています。



■発行者 : 竹村石材株式会社

脇田 大 (わきだ まさる)

河北郡津幡町生まれ。妻、息子3人、妻の両親の7人大家族。かつて長男・次男が所属していた野球チームのお父さん方とお酒を飲むことがもっぱらの楽しみです。



竹村公伸



脇田 大



竹村元成

竹村石材株式会社  
TEL: 076-241-0325  
石川県金沢市寺町5-2-38

# 😊 ～お墓・仏事のミニ知識～ 😊

## ★「おみくじ」の元祖、元三大師

気軽に楽しめる占いとして身近な「おみくじ」。

初詣では必ずおみくじを引く、という方も多いのでは

ないでしょうか？古代、おみくじは神の意思を占うも

のとして用いられてきました。現代のおみくじの元祖

と言われているのは、平安時代の天台宗の僧侶

慈恵大師で、観音菩薩に祈念して授かった五言四句

の偈文(げもん)100枚のうち1枚を引かせたのがおみくじ

の原型と言われており、江戸時代になってこれが全国に広まっていきました。

慈恵大師は1月3日に亡くなったことから元三大師とも呼ばれ、比叡山延暦寺

の元三大師堂は「おみくじ発祥の地」として知られています。



## 仏事クイズ Q&A

知っているようで知らない仏事のことや言葉の意味をクイズで確かめてみましょう。



お墓に彫刻されている「家紋」。現在日本に存在する家紋は、何種類あるといわれていますか？

- ① 500種類
- ② 1000種類
- ③ 5000種類



一般的な分類では240種類ほどが存在するそうですが、細かく分類すると約3万種類とも言われています。



## まちがいさがし



上下の絵に間違いが3個あります。探してみましょう。

※クイズとまちがいさがしの正解は、表面の一番下の部分をご覧ください。

ご縁を大切にしたいとの想いで、発行しています。